



# ぽぶいけーしょん

事務局 (一社)北海道医療ソーシャルワーカー協会  
札幌市中央区南4条西10丁目  
北海道難病センター内  
<http://www.hmsw.info/>

## 『旭川市医療介護連携推進事業検討会の報告』

北支部 理事 山田純一

現在の旭川市医療介護連携推進事業検討会のご報告をさせていただきます。

検討会では、「あさひかわ安心つながり手帳」を作成しました。

各種保険証やお薬手帳などをはさめる総合ツールを作成し、その手帳に担当ケアマネジャーの情報や利用しているサービス事業所などを情報として記載します。

まずはこのような共通ツールを旭川市が作成することにより、効果的な医療介護連携体制を構築することが狙いです。

当手帳を市民へ普及させる手段として、ケアマネジャーに配布され担当の利用者へ再配布するという方法を行いました。担当ケアマネは配布済み利用者のリストを旭川市介護高齢課へ提出して市は手帳の配布状況を確認するという過程を実行中です。

また、ワーキングチームを立ち上げ「医療機関とケアマネジャーの共通ツール」作成について検討を深めています。

全国の他市町村で使用されている共通ツールをチームメンバーにて考察し、ケアマネと医療機関が入退院に関わる連携に関する必要な項目を抽出、医療介護連携の質に関する標準化を推進することが大きな狙いです。

作成したツールを各医療機関、ケアマネが実際に使用するかは任意です。しかし、各事業所間で独自に作成するフェイスシートなどの必要項目に関する一つの指針となることが望ましいと考えています。

現在はケアマネから医療機関へ情報提供するツールを作成中です。今後は医療機関からケアマネへの情報ツールを作成予定です。

旭川市を取り巻く「たいせつ広域連合」との制度的互換性を持った医療介護推進連携の制度構築が今後の大きな課題です。

# 『札幌市東区地域ケア推進会議』報告』

札幌麻生脳神経外科病院 星野由利子

「札幌市東区地域ケア推進会議」では、地域包括を中心に医師会、歯科医師会、薬剤師会、福まち、民生・児童委員協議会、地域ケア連、CM連協、社協、リハ専門職協会、そして当会が集まり、年2回定例会を開催しています。

最初の頃、『高齢者虐待』について各機関から「他機関にお願いしたいこと」を募ったのですが、何と！医療機関にだけ何もリクエストがなかったことに衝撃を受けました。診察や検査で色々と判断できることがあるし、MSWも連携窓口になり相談も可能なのですが...「何が出来る人達なのか分からない」という表出を肌で感じることにになりました。出来ることはあるのです。それを発信しなければと学習しました。昨年は『転倒・介護予防』がテーマでしたが、東区独自の「タッピー体操」を各予防センターに加え町内会館や医療機関も一般開放し地域住民の自主的なグループを複数結成させ実施するまでに至りました。また、今年度は、「男性介護者への支援の質の充実・向上」をテーマに男性介護者に対し、今後必要と考えられる取組を検討しつつ、当面『男性介護者支援についての研修会』を企画・協力する予定となっております。

最後に、実は病院というところは、地域課題がたくさん転がり込んでくる場でもあります。なのでMSWだからこそ地域課題への取り組みに協働していけると思いますし、各地でその実績を増やしていくことが大切な時期だと感じています。

## 『十勝保健医療福祉圏域連携推進会議

難病対策専門部会委員（難病対策地域協議会）

派遣報告』

医療法人社団 博愛会 開西病院 外山 史教

今年度より委員派遣を受けて活動をしておりますので、ご報告させていただきます。

今年度の専門部会の取り組みとして、「相談支援強化・他職種による連携体制強化」「災害対策の継続」「相談窓口の整備」を検討しています。

1つ目は、支援者の相談援助力の強化と患者家族会とのつながり強化を目的として、「難病患者支援における他職種連携のための学習会」を平成30年10月15日に開催しています。特定医療費（指定難病）受給者の状況を確認した後、帯広市介護支援専門員連絡協議会会長渡辺氏より難病患者支援の実際についての講話。事例を基にグループワークも併せて行い、多職域との意見交換もできました。100名を超える参加があり、担当者間が顔の見える環境で学びが多く、密な連携の構築の一助になったのではないかと感じています。

2つ目の災害対策の取り組み進捗としては、各市町村の緊急避難が必要になった際の緊急度ラックを設定し、支援が必要な患者が優先的に対応できるよう、関係機関との連携構築が進んできた状況です。優先的に支援が必要な患者の災害時個別支援計画の整備状況は平成30年6月1日現在で28%ですが、本人と家族が様式を見て意見を出し完成を目指しているとのことでした。

3 つ目の相談窓口の整備については各相談援助職がいる機関で相談に対応するも、専門的な知識を有している対応者が少ないことから、具体的な対応が出来るよう、患者家族会とも連携して取り組むことが必要と提言がありました。

医療依存度が高い患者が多く、事業所として対応しきれないと判断をされることがある状況ですが、少しでも地域の現状が改善するよう、患者家族会と知恵を出し合いながら、引き続き取り組んでいく必要があると感じています。

## 『平成 30 年帯広市在宅医療・ 介護ネットワーク会議構成員 派遣報告』

医療法人社団 博愛会 開西病院 外山 史教

今年度より活動に参加しておりますので、現状のご報告させていただきます。

帯広市は介護保険法に基づく在宅医療・介護連携推進事業について、市に適した推進事業を協議するため、帯広市在宅医療・介護ネットワーク会議を設置しております。

各職能団体から構成員を選出し、今年度は 2 つのワーキンググループを設置。研修ワーキングは、多職種が集い知識を深め、顔の見える関係を築くための場（研修）について検討し、平成 30 年 11 月 10 日（土）に開業医の先生に実践報告をして頂き、グループワークで理解を深める目的で多職種連携研修会を開催。134 名の参加があり、「連携」というテーマは依然地域として関心の高いものと再認識しました。周知啓発ワーキングは、効果的に住民及び関係者へ向けた啓発を行うための媒体や手法の検討を行い、帯広市の発行で「在宅医療 はじめの一步」と題してリーフレットを配布しております。

地域住民や多職種の意識を向上、関係各所の連携づくりに期待した取り組みとなっており、より良い地域づくりの一端を担える構成員として、これからも医療ソーシャルワーカーとして積極的に意見を出して活動したいと思っています。

また、帯広市としては地域ごとに拠点となる病院と地域包括支援センターのつながりを深めることを目的に「チームエリアによる連携コーディネートについて（案）」を検討しています。市の事業で医療ソーシャルワーカーに意見を求められることは、期待の高さのあらわれだと思っています。進捗がありましたら改めてこの件に関してもご報告いたします。

Hokkaido MSW



一般社団法人

北海道医療ソーシャルワーカー協会

# 十勝保健医療福祉圏域地域連携推進会議在宅医療専門部会（兼在宅医療多職種連携協議会）委員派遣報告

社会福祉法人北海道社会事業協会 帯広病院  
ソーシャルワーカー 田巻憲史

平成 26 年度から、『十勝保健医療福祉圏域 地域連携推進会議在宅医療専門部会（兼在宅医療多職種連携協議会）』に、（一社）北海道医療ソーシャルワーカー協会からの派遣を受け、委員として参加しています。

この在宅医療専門部会は、地域における保健医療福祉施策の総合的かつ一体的な推進を図るため、平成 20 年から十勝保健医療福祉圏域地域連携推進会議の規定に基づいて設置されていた「がん・在宅医療対策専門委員会」を、平成 26 年度から、在宅医療を検討する「在宅医療専門部会」と、がんを含め、脳卒中、心筋梗塞、糖尿病などの生活習慣病の対策を検討する「生活習慣病専門部会」に再編し、さらに、在宅医療の充実を図ること及び医療・介護などの専門職が協働し、十勝圏域の在宅医療の提供体制を構築するための「在宅医療多職種連携協議会」を兼ね合わせたものになったものです。背景には、平成 26 年度以降は市町村ごとに「在宅医療」等の提供体制の検討を進める必要があり、その協議事項は疾病予防や普及啓発、連携体制の強化など共通する取り組みが多いことがあります。

本専門部会では、「十勝地域における入退院時の連携ルール」づくりや在宅医療推進のための実態調査、高齢者施設における見取りに関する実態調査、北海道医療計画十勝地域推進方針についての協議・報告などを議論してきました。

私たちソーシャルワーカーは、ひとびとの wellbeing を高める専門職として、生活課題に取り組み、ウェルビーイングを高められるよう、人々と環境の接点へ介入していくことを中心に据えています。今後も、多角的な視点を持ち、ひとびとの wellbeing を高められるよう、積極的に関わって行きたいと考えています。

北海道 MSW 協会 派遣者一覧	
木川幸一	白石区地域ケア推進会議
星野由利子	東区地域ケア推進会議
岩坂亜里砂	函館市認知症初期集中支援チーム検討委員会
松木俊樹	函館市成年後見センター運営協議会委員
深田美彦	苫小牧市地域ケア推進会議委員
外山史教	十勝保健医療福祉圏域連携推進会議難病対策専門部会委員
	平成 30 年帯広市在宅医療・介護ネットワーク会議構成員
田巻憲史	十勝保健医療福祉圏域連携推進会議在宅医療専門部会委員
山田純一	旭川市成年後見支援センター運営委員会
	上川中部保健医療福祉圏域連携推進会議在宅医療専門部会構成員
	旭川市在宅医療及び介護連携推進検討会委員
長尾明香	上川中部保健医療福祉圏域連携推進会議難病対策専門部会構成員
中川理恵	留萌保健医療福祉圏域連携推進会議難病対策専門部会（難病対策地域協議会）委員